

Met., 4, 135-162.
 Charney, J.G., 1948: On the Scale of Atmospheric Motions, Geof. Publ., 17, No.2, pp.17.
 —, and A. Eliassen, 1949: A Numerical Method for Predicting the Perturbations of the Middle Latitude Westerlies, Tellus, 1, 38-53.
 —, R. F. Fjörtoft and J. von Neumann, 1950: Numerical Integration of the Barotropic Vorticity Equation, Tellus, 2, 237-254.
 —, and N.A. Phillips, 1953: Numerical Integration of the Quasi-Geostrophic Equations for Barotropic and Simple Baroclinic Flows, J. Met., 10, 71-99.
 Saito, N., 1962: The Results of Numerical Forecasting with the 4-level Baroclinic Model, Proceedings of the International Symposium on Numerical Weather Prediction in Tokyo, 35-46.
 Masuda, Y., 1971: The Use of Non-Geostrophic Balanced Model for Numerical Weather Prediction, J. Met. Soc. Japan, 49, Special Issue, 595-612.
 Okamura, Y., 1975: Computational Design of a Limited-Area Prediction Model, J. Met. Soc. Japan, 53, 175-188.
 Masuda, Y. and A. Arakawa, 1962: On the Objective Analysis for Surface and Upper Level Maps, Proceedings of the International Symposium on Numerical Weather Prediction in Tokyo, 55-66.
 Electronic Computation Center, J. M. A., 1977: Outline of Operational Numerical Weather Prediction at Japan Meteorological Agency, Appendix to Periodic Report on Numerical Weather Prediction, XVII (Jan. Dec. 1977), by E.C.C., J.M.A.
 Snellman, L. W., 1977: Operational Forecasting Using Automated Guidance, Bull, Amer. Met. Soc., 58, 1036-1044.

気 象 研 究 ノ ー ト 既 刊 号 リ ス ト

- 第 116 号 (1973年11月)
 ライダ (レーザレーダ) と気象観測
- 第 119 号 (1974年 6 月)
 都市・建築と気象
- 第 121 号 (1974年 6 月)
 雲物理特集 I —— 氷の物性 ——
- 第 122 号 (1974年11月)
 雲物理特集 II —— 雲核・氷晶核 ——
- 第 123 号 (1974年12月)
 雲物理特集 III —— 雲結晶・あられ・ひょうの生成 ——
- 第 124 号 (1975年 8 月)
 流れの可視化法
 追 補 境界層と乱流
- 第 125 号 (1975年10月)
 海陸風と山越え気流
- 第 126 号 (1975年11月)
 大気中の内部重力波
 I. 内部重力波の理論……………田中 浩
 II. 超高層の大気波動……………加藤 進
- 第 127 号 (1975年12月)
 大気汚染気象特集
 大気境界層の拡散に関する構造……………横山 長之
 大気中のガスや粒子状物質の変遷……………大喜多敏一
 光化学大気汚染に関するシンポジウム
 ・光化学大気汚染中の反応のモデル化と
 その素反応論的基礎……………秋元 肇
 ・大気汚染物質の分布と気象条件との
 関係……………福岡 三郎
 ・光化学大気汚染のモデリングと
 シミュレーション……………木村富士男
 ・討 論
 (付録) 大気汚染気象用語集……………河村 武
- 第 128 号 (1976年 3 月)
 最近の気象学と気象事業の展望
 —— 気象庁創立百年を記念して ——
- 第 129 号 (1976年 9 月)
 台風特集
 第 1 章 台風の構造と発達の方学……………山岬 正紀
 第 2 章 熱帯低気圧の発生と台風観測
 ………………井沢 龍夫・門脇俊一郎

第3章 台風の進路とその予報
 ……野本 真一・岡村 存
 第4章 台風災害……………奥田 稷

第130号 (1976年12月)

気象の測定
 気象の測定論……………齊藤 実
 風・温度・湿度及び乱流輸送量の測定
 ……文字 信貴・水間 満郎
 大気汚染質の測定……………大喜多敏一・川村 清
 大気微量成分の分光測定……………小川 利紘
 大気電気の測定……………三崎 方郎
 雨滴粒径の測定……………後町 幸雄
 降雨強度の測定……………当倉満寿夫
 地上からの放射測定に基づく気温の
 鉛直分布の測定……………嘉納 宗靖

第131号 (1977年5月)

スペクトル解析
 ・スペクトル解析の方法と
 気象要素のスペクトル……………花房 龍男
 ・時空間スペクトル解析法と
 大気大循環モデルへの応用……………林 良一

第132号 (1977年9月)

気候の物理学的基礎と気候のモデリング
 (GARP Publications Series No. 16)
 序論と一般的勧告
 観測された気候変動の特性
 気候のモデル化の基本原則
 気候モデルの感度, 予測可能性の研究
 気候モデルに含まれる物理的, 化学的,
 生物学的諸過程
 観測計画
 浅井富雄・朝倉 正・田中康夫・能登正之 訳

第133号 (1977年12月)

都市気候に関する最近の展望
 日本および外国の諸都市における
 気候の変化……………吉野 正敏
 都市気候の分布の実態……………河村 武
 都市気候の成因とモデリング……………河村 武
 歴史資料による気候変化, 米の生
 産量, 価格, 人口などの関連に

関する研究……………高橋浩一郎
 2次元拡散モデルによる熱使用限界の推定
 ……高橋浩一郎

第134号 (1978年3月)

数値予報
 数値予報の歴史的展望……………岸保勘三郎
 基本方程式とエネルギー論……………相原 正彦
 積雲対流のパラメタリゼーション……………山岸米二郎
 境界層の取り扱い……………片山 昭
 放射による加熱率の差分計算法と
 その北半球分布……………久保田 効
 客観解析法……………清水 喜允
 4次元同化作用とイニシャリゼーション
 ……住 明正
 数値計算上の問題……………木田 秀次・岡村 存・
 近藤 洋輝・菊池 幸雄
 数値予報プロダクトの利用
 ……立平 良三・菊池 正武
 予報可能性と延長予報……………住 明正
 世界のオペレイショナル・モデルの現状
 ……吉田 泰治

購入を希望される方は、申込者名・送り先・希望の号と冊数・代金の支払方法を明示して、日本気象学会事務局(〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内)にお申し込み下さい。

また定期購読を指定されれば、以後、発行の都度お届けします。

配付価格

号	122	123	124	125	126	127
通常会員	970	1400	710	1470	650	870
定期購読	—	—	670	1400	600	800
団体会員	1500	2100	1080	2230	1000	1300
会員外	1700	2400	1200	2500	1100	1500
	128	129	130	131	132	133
	2560	2400	1300	670	940	750
	2440	2250	1230	640	900	710
	3900	3600	2000	1000	1400	1200
	4400	4100	2200	1150	1600	1300
						6850